

1 はじめまして

教科書 p. 22 ~ 23

学習日 月 日

I am ... の文

基本文 I am Ellen Baker.

ポイント ① 「わたしは…です。」と自分のことをいうときは(I am …)で表す。

* I は「わたしは」、am は「…です」に当たる語。

② I am は短縮形を使って I'm と表すこともできる。I'm の (') はアポストロフィといい、省略した部分につける。*ここでは am の a が省略されている。

③ 日本人の名前はローマ字で表し、日本語どおり(姓+名)の順でも(名+姓)の順でもよい。

語句 ① afternoon ② am ③ call ④ evening ⑤ everyone ⑥ good ⑦ I ⑧ I'm

p. 26 で発音と意味を確認しよう!

⑨ me ⑩ morning ⑪ Mr. ⑫ Ms. ⑬ hi ⑭ Lily ⑮ Liz ⑯ Parker

⑰ Call me ... ⑱ Good morning.

確認問題

1 次の日本語に合う英文になるように、に適する語を書きなさい。

★□(1) わたしは由美です。

 Yumi.

□(2) わたしはリリーです。

 Lily.

□(3) ほくはアレックス(Alex)です。

2 次の英文を短縮形を使って書きかえなさい。

★□(1) I am Kota.

 Kota.

□(2) I am Ellen.

3 次の日本語の名前を英語で書きなさい。 p. 224 ローマ字一覧

★□(1) 安藤 咲

□(2) 田中 さとし

★□(3) わたしは松田良一です。

I'm

基本問題

1 次の日本語に合う英文になるように、に適する語を書きなさい。

★□(1) A : こんにちは。わたしは智子です。

B : こんにちは。ほくはアレックスです。

A : Hi. Tomoko.B : Hi. Alex.

□(2) わたしはリリー・パーカー (Lily Parker) です。

2 次の対話文を読んで、あとの問いに答えなさい。

Ayaka : Hi. ① () () Kudo Ayaka. Call me Aya.

Mr. Brown : Hi, (②). ③ () Mike Brown. B-R-O-W-N.
Call me Mr. Brown.

★□(1) 下線部①が自己紹介の文になるように、()に入る最も適当な語を1語ずつ書きなさい。

□(2) (②)に入る最も適当な名前を次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア Kudo イ Ayaka ウ Aya []

□(3) 下線部③の()に入る最も適当な語を書きなさい。

3 次の日本語を英語に直しなさい。 p. 224 ローマ字一覧

★□(1) わたしはベッキー・ジョーンズ(Becky Jones)です。

□(2) ほくは山本卓也です。

★□(3) わたしは〇〇〇〇です。

[〇〇〇〇に自分の名前を入れて全文を書いてみよう。]

基本文・例文の意味

わたしはエレン・パーカーです。

1

(1)(2)「わたしは」「ほくは」はI, 「…です」はam。

(2) 空所の数に注意。

Iはいつも大文字

・Iはいつも必ず大文字で書く。

・短縮形I'mを使うとき、アポストロフィ(')を忘れない。

英語と日本語の語順

《日》わたしは 健 です。

《英》I am Ken.

* 英語は主語の直後に「…です」がくる。

1 はじめまして

教科書p.24~25

学習日 月 日

You are ... / Are you ...? の文

基本文

1 You are Ando Saki.

2 Are you Ando Saki? — Yes, I am.

ポイント

1 「あなたは…です。」と相手のことをいうときは〈You are …〉で表す。

* You は「あなたは」という意味。主語が You のとき、「…です」は are を使う。

2 「あなたは…ですか。」とたずねるときは are を you の前に出し〈Are you …?〉とする。

3 〈Are you …?〉の問いに、「はい、そうです。」と答えるときは Yes, I am. という。

語句

① a ② are ③ club ④ in ⑤ oh ⑥ please ⑦ the ⑧ yes ⑨ you ⑩ art ⑪ dance

p.26 で発音と
意味を確認しよう!

⑫ drama ⑬ guitar ⑭ on ⑮ Peter ⑯ swimming ⑰ team ⑱ volleyball

⑲ in the ... club ⑳ on the ... team

確認問題

1 次の英文の 〇 に、() 内から適する語を選んで書きなさい。

□(1) I 〇 Watanabe Sachiko. (am / are)

★□(2) You 〇 Tanaka Jiro. (am / are)

2 次の英文を疑問文に書きかえるとき、 〇 に適する語を書きなさい。

★□(1) You are Alex.

〇 you Alex?

★□(2) You are Goto Kumi.

〇 Goto Kumi?

□(3) You are Ms. Sato.

〇 ?

3 次の疑問文に、「はい、そうです。」と答える文を完成しなさい。

□(1) Are you Ito Kota?

— 〇, I 〇.

★□(2) Are you Ms. Baker?

— Yes, 〇.

基本問題

1 次の日本文に合う英文になるように、 〇 に適する語を書きなさい。

★□(1) ①あなたは鈴木大介さんですか。 — ②はい、そうです。

□① 〇 Suzuki Daisuke?

□② 〇, I 〇.

□(2) ①あなたは柔道部に入っていますか。

— ②はい、入っています。③ぼくは英語部にも入っています。

□① 〇 in the judo club?

□② 〇, 〇.

□③ 〇 in the English club, too.

2 次の対話文を読んで、あとの問いに答えなさい。

Masami : Good morning. I (①) Kato Masami.

Call me Machami.

Alex : OK.

Masami : (②) (③) Alex?

Alex : Yes. ④ ぼくはアレックス(Alex)です。Call me Al.

★□(1) ①~③の () 内に入る最も適当な語を書きなさい。

□① 〇 □② 〇 □③ 〇

□(2) 下線部④を2語の英語に直しなさい。

〇.

★3 次の日本文を英語に直しなさい。

□(1) あなたは剣道部(kendo club)に入っていますか。

— (2)はい、入っています。(3)わたしは剣道部に入っています。

□(1) 〇

□(2) 〇

□(3) 〇

基本文・例文の意味

1 あなたは安藤咲です。

2 あなたは安藤咲ですか。

— はい、そうです。

1

相手のことをたずねる文

You [are] Ken .

[Are] you Ken [?] .

あなたは健ですか。

* are が主語 you の前に出る。

* 文尾の(.)が(?)に変わる。

「～部に入っている」

「～部に入っている[所属している]」というときも am や are を使う。

・主に文化部の場合

am[are] in the ~ club

・主に運動部の場合

am[are] on the ~ team

例 1 I am in the guitar club.

わたしはギター部に入っています。

例 2 I am on the soccer team.

わたしはサッカー部に入っています。

2

(1) ①主語の I に注目。

②③文末の(?)に注目。

(2) 「2語の英文」に注目。

1 はじめまして

教科書 p. 26 ~ 27

学習日 月 日

I am not ... の文

基本文

1 Are you from New York?

— No, I am not.

2 I am not from New York.

ポイント

1 〈Are you ...?〉の問いに、「いいえ、ちがいます。」と答えるときは、No, I am not. または I am の短縮形を使って No, I'm not. という。

2 「わたしは...ではありません。」と打ち消すときは、〈I am not ...〉または〈I'm not ...〉で表す。
「あなたは...ではありません。」と打ち消すときは、〈You are not ...〉または〈You're not ...〉で表す。* you're は you are の短縮形。

語句

① black ② blue ③ brown ④ color ⑤ fan ⑥ from ⑦ green ⑧ no ⑨ not
⑩ orange ⑪ pink ⑫ red ⑬ so ⑭ white ⑮ yellow ⑯ the Boston Red Sox

p. 26 で発音と意味を確認しよう!

確認問題

1 次の疑問文に、あとの「 」内の日本語のように答えるとき、 に適する語を書きなさい。

★□(1) Are you Sato Ken? 「はい、そうです。」

— , I .

★□(2) Are you Lily Parker? 「いいえ、ちがいます。」

— , I .

□(3) Are you in the judo club? 「いいえ、入っていません。」

— , .

2 次の英文を否定文に書きかえるとき、 に適する語を書きなさい。

★□(1) I am Mike Baker.

I Mike Baker.

□(2) I'm on the tennis team.

on the tennis team.

★□(3) You are Ellen Baker.

You Ellen Baker.

□(4) You are on the dance team.

on the dance team.

基本問題

1 次の日本語に合う英文になるように、 に適する語を書きなさい。

□(1) ①あなたはロンドンの出身ですか。 — ②はい、そうです。

□① from London?

□② , .

★□(2) ①あなたはダンス部ですか。 — ②いいえ、ちがいます。

□① on the dance team?

□② , .

★□(3) ①あなたは野球ファンですか。 — ②いいえ、ちがいます。

□① a baseball fan?

□② , .

2 次の日本語に合う英文になるように、()内の語を並べかえなさい。

★□(1) わたしは大阪出身ではありません。

(am / Osaka / from / not / I).

□(2) わたしは相撲ファンではありません。 (fan / I'm / sumo / a / not).

3 次の日本語を英語に直しなさい。

★□(1) ①あなたは東京出身ですか。

— ②いいえ、ちがいます。③ぼくは東京出身ではありません。

□①

□②

□③

□(2) わたしは柔道部には入っていません。

基本文・例文の意味

1 あなたはニューヨーク出身ですか。

— いいえ、ちがいます。

2 わたしはニューヨーク出身ではありません。

1

(1)① am[are] from London

「ロンドン出身だ」

(2)①「あなたはダンス部に入っていますか。」と読みかえる。

on the dance team

*「ダンス部に入って」

(3)①「野球ファン」

a baseball fan

② 答えの空所の数に注目。

a の使い方

a は「1つの」「1人の」という意味を表し、1つ、2つ[1人、2人] ... と数えられる名詞の前につける。

英語ではものや人が1つ[1人]なのか、1つ[1人]以上なのかをはっきり区別する習慣がある。

2

I am ... の否定文

I am Ken .

↓

I am not Ken .

(= I'm)

わたしは健ではありません。

*am の直後に not を置く。

2 学校で

教科書 p. 30 ~ 31

学習日 月 日

This[That] is ... の文

- 基本文**
- 1 This is my pen.
2 That is my pen.

- ポイント**
- 1 近くにあるものをさして「これ」と言うときは **this**、離れたところにあるものをさして「あれ」と言うときは **that** を使う。主語が **this** や **that** のとき、「…です」は **is** を使う。
- 2 that is は、短縮形を使って **that's** と表すこともできる。
- 3 「わたしの…」と言うときは **my**、「あなたの…」と言うときは **your**、「わたしたちの…」言うときは **our** (教科書 p.34) を使う。
- *ものが1つ、人が1人であることを表す **a** と **my**, **your**, **our** はいっしょに使えない。

- 語句**
- ① are ② here ③ is ④ my ⑤ pen ⑥ thank ⑦ that ⑧ that's ⑨ this ⑩ welcome
⑪ you ⑫ your ⑬ you're ⑭ ballpoint pen ⑮ eraser ⑯ marker ⑰ notebook
⑱ pencil ⑲ Here you are. ⑳ Thank you. ㉑ You're welcome.

- 1 次の絵を見て、 に適する語を書いて、①「これはわたしの…です。」、②「あれはわたしの…です。」という英文を作りなさい。



- *□(1)□① is my dog.
- ② is my dog.
- *□(2)□① my guitar.
- ② my guitar.

- 2 次の英文を短縮形を使って書きかえなさい。

- *□(1) That is my cup. my cup.
- (2) That is my bed.

- 3 次の英文の下線部を、「 」内の日本語に合う英語に書きかえなさい。

- *□(1) This is a notebook. 「わたしのノート」
This is .
- *□(2) That is my umbrella. 「あなたの傘」
That is .
- *□(3) That's a computer. 「わたしたちのコンピューター」
That's .

基本問題

- 1 次の に、am, are, is の中から最も適する語を選んで書きなさい。

- (1) I in the judo club.
- *□(2) This a judo uniform.
- (3) you Becky Jones?

- *2 次の日本文に合う英文になるように、()内の語を並べかえなさい。ただし、それぞれ1つずつ不要なものがあります。

- (1) あれはあなたのマーカーです。 (your / are / is / marker / that).
- (2) これはわたしのえんぴつです。 (pencil / a / this / my / is).
- (3) あれはわたしたちの体育館です。 (is / gym / that's / our).

- 3 次の日本文を英語に直しなさい。

- *□(1) これはあなたの消しゴムです。

- (2) あれはわたしたちの家です。

基本文・例文の意味

- 1 これはわたしのペンです。
2 あれはわたしのペンです。

1 「…です」という意味を表す am, are, is は主語に合わせて使い分ける。

- 2 (1)「マーカー」marker
(2)「えんぴつ」pencil

a の使い方
日本語では「これはペンです。」とも「これは1本のペンです。」とも言うが、英語では基本的に (×) This is pen. という形はない。数えられるものや人の場合、必ず「1つ[1人]」を意味する **a** をつける。

① ②

- 3 (1)「消しゴム」eraser
(2)「家」home[house]

2 学校で

教科書 p. 32 ~ 33

学習日 月 日

Is that [this] ...? / This [That] is not ... の文

基本文

1 That is an amusement park.

2 Is that an amusement park?

— Yes, it is.

[No, it is not. It is a department store.]

ポイント

1 「これは[あれは]…ですか。」とたずねるときは, is を this [that] の前に出し「Is this [that] ...?」

で表す。答えるときは it を使い, Yes, it is. または No, it is [it's] not. とする。

* it's は it is の短縮形。

2 前に出たものを「それは…です。」と説明するときは, <It is [it's] ...> で表す。

3 「これは[あれは]…ではありません。」と打ち消すときは, is のあとに not を置く。

4 1つのものや1人の人を表す a は, あとにくる語が*母音で始まる場合は an になる。

例 This is an egg. / That's an amusement park. *母音: 日本語のア・イ・ウ・エ・オに似た音。

語句

① amusement ② an ③ department ④ English ⑤ in ⑥ it ⑦ it's ⑧ Mt. ⑨ nice

p. 39 で発音と意味を確認しよう!

⑩ park ⑪ picture ⑫ store ⑬ bear ⑭ koala ⑮ lion ⑯ panda ⑰ rabbit ⑱ zoo

⑲ amusement park ⑳ department store ㉑ Mt. Fuji

確認問題

1 A 次の英文を疑問文に書きかえなさい。

★□(1) This is a notebook.

a notebook?

★□(2) That is my juice.

my juice?

B 次の疑問文に, () 内の語を使って答えなさい。

□(1) Is this a guitar? (Yes) — Yes, is.

★□(2) Is that your umbrella? (Yes) — Yes, .

★□(3) Is this your apple? (No) — No, .

2 次の疑問文に, 「はい」または「いいえ」と答えたあと, 「それは…です。」と説明する文を書きなさい。

□(1) Is this my cup?

— Yes, is. your cup.

★□(2) Is that a dog? — No, not. a cat.

3 次の英文を否定文に書きかえなさい。

★□(1) This is my eraser.

— This my eraser.

□(2) That's your racket.

— That your racket.

★4 次の英文の に a か an を書きなさい。どちらも不要のときは × を書きなさい。

□(1) That's koala. □(2) This is egg.

□(3) Is this my orange?

基本問題

1 次の舞(Mai)とトム(Tom)の対話文を読んで, あとの問いに答えなさい。

Mai : ① This is a nice racket. Is it your racket?

Tom : (②) It's my racket.

I (③) on the tennis team.

Mai : Oh, you (④) on the tennis team!

□(1) 下線部①を日本語に直しなさい。

(

□(2) (②) に適する英文をア~ウから1つ選び, 記号で答えなさい。

ア Yes, I am. イ Yes, it is. ウ No, it's not. []

★□(3) ③, ④の () 内に入る最も適当な語を, am, are, is から1つずつ選んで書きなさい。

□③

□④

2 次の対話文を英語に直しなさい。

★ A: (1)あれはあなたの傘ですか。

B: (2)いいえ, ちがいます。(3)それはわたしの傘ではありません。

□(1)

□(2)

□(3)

基本文・例文の意味

1 あれは遊園地です。

2 あれは遊園地ですか。

— はい, そうです。[いいえ, ちがいます。それはデパートです。]

a[an] ...と my[your] ...

・「1本の傘」は an umbrella, 「わたしの傘」は my umbrella, 「あなたの傘」は your umbrella. このとき my や your の前に a はつけない。

* a と my, your, our などはいっしょに使えないので注意しよう。

形容詞のある文

人やものの様子や形, 性質, 状態などを表す語を形容詞という。

形容詞は <(a [an] +) 形容詞 + 名詞> の形で, あとの名詞を説明する働きがある。

例 a nice cup すてきなカップ

my red umbrella

わたしの赤い傘

* my や your が前にくると a や an はなくなる。

1

(1) nice は「すてきな」「よい」, racket は「ラケット」という意味。

(2) 直後の It's my racket. に着目する。It's は It is の短縮形。

2

(1) 「あなたの」 your

「傘」 umbrella

2 学校で

教科書 p. 34 ~ 35

学習日 月 日

He[She] is ... の文

基本文

- 1 This is Alex. 2 He is my friend.
3 He is not my teacher. 4 This is Ms. Baker.
5 She is my teacher. 6 She is not from New York.

ポイント

- 1すでに話題にのぼった男性について「彼は…です。」と言うときは〈He is …〉, すでに話題にのぼった女性について「彼女は…です。」と言うときは〈She is …〉とする。
* he is の短縮形は **he's**, she is の短縮形は **she's** となる。
* 人を紹介するときに「こちらは…です。」と言うときも〈This is …〉を使う。
2「彼[彼女]は…ではありません。」と打ち消すときは, is のあとに **not** を置く。
3「彼[彼女]は…ですか。」とたずねるときは, is を he[she] の前に出し〈Is he[she] …?〉で表す。
答えるときは **Yes, he[she] is. / No, he[she] is not.** とする。

語句

- ① English ② friend ③ he ④ he's ⑤ hi ⑥ meet ⑦ our ⑧ she ⑨ she's
⑩ teacher ⑪ this ⑫ to ⑬ too ⑭ T-shirt ⑮ player ⑯ Nice to meet you.

p. 39 で発音と意味を確認しよう!

確認問題

- 1 A 久美 (Kumi) が, ベッキー (Becky) と加藤先生 (Mr. Kato) をそれぞれ紹介しています。次の日本語を参考にして, 空欄に適する語を書いて, 英文を完成しなさい。

久美 : こちらはベッキーです。彼女はオーストラリア出身です。

久美 : ベッキー, こちらは加藤先生です。先生は東京出身です。

★□(1) Kumi : _____ is Becky. _____ from Australia.

□(2) Kumi : Becky, _____ Mr. Kato. _____ from Tokyo.

B 次の空欄に適する語を, () 内から選んで書きなさい。

★□(1) This is Kenji. _____ is in the judo club. (He / She)

★□(2) This is Ms. Hayashi. _____ is a tennis player. (He / She)

2 次の英文を否定文に書きかえるとき, 空欄に適する語を書きなさい。

★□(1) He is Mike Baker. _____ Mike Baker.

★□(2) She is from America. _____ from America.

□(3) She's a tennis fan. _____ a tennis fan.

3

A 次の英文を疑問文に書きかえるとき, 空欄に適する語を書きなさい。

★□(1) He is a soccer fan.

_____ a soccer fan?

□(2) Kaori is on the dance team.

_____ on the dance team?

B 次の英文の空欄に適する語を書きなさい。

★□(1) A : Is Mr. Green from Canada?

B : Yes, _____.

□(2) A : Is Ms. Baker from Canada?

B : No, _____.

基本問題

1 次の英文を [] 内の指示に従って書きかえなさい。

□(1) You are my friend. [下線部を He にかえた文に]

★□(2) She's a teacher. [否定文に]

★□(3) Ichiro is a soccer player. [疑問文にして, No で答える]

□① _____

□② _____

★2 次の日本語を英語に直しなさい。

□(1) 彼女はわたしの英語の先生ではありません。

□(2) こちらは健太 (Kenta) です。彼は大阪出身です。

□(3) 彼は柔道部に入っていますか。

基本文・例文の意味

- 1 こちらはアレックスです。
2 彼はわたしの友達です。
3 彼はわたしの先生ではありません。
4 こちらはベーカー先生です。
5 彼女はわたしの先生です。
6 彼女はニューヨーク出身ではありません。

- 1 (1) 主語が You なら「…です」は are. He のときは ?
(2) She's は She is の短縮形。
(3) 「一郎はサッカー選手です。」という人名 (Ichiro) が主語の文。文の作り方は He [She] is … と同じ。

人名などが主語の文
人名などが主語になっても, 形は He[She] is … の文と同じ。

- ① Ken is my friend.
健はわたしの友達です。
② Is Ken your friend?
健はあなたの友達ですか。
— Yes, he is. / No, he is not.
はい, そうです。/ いいえ, ちがいます。

* 人名などが主語の場合も, 1 人なら「…です」は is を使う。
* 疑問文・否定文の作り方は, He[She] is … の文と同じ。ただし, 答えるときは, その名詞をくり返さず **he** や **she** にかえる。

- 2 (1) 「わたしの」my
「英語の先生」English teacher
(3) 「柔道部に入って」
in the judo club

he と she
he や she は Alex, Saki, Ms. Baker, my father (わたしの父) など名詞の代わりに用いられる語 (= 代名詞) で, その名詞を2度目に言うときに使われる。
・ he → Tom, Mr. Kato など, 1 人の男性の代わり。
・ she → Aya, Ms. Green など, 1 人の女性の代わり。
* 「人」については he や she を使うが, 「ものや動物」の場合はふつう it を使う。

3 わたしの好きなこと

教科書 p. 38 ~ 39

学習日 月 日

一般動詞の肯定文

基本文 1 I like math.

ポイント ① 主語の状態や動作を表す語を**動詞**という。am, are, is 「…です」を**be 動詞**といい、それ以外の **like** 「…を好む, …が好きだ」, **play** 「(楽器・曲など)を演奏する, (スポーツ・ゲームなど)をする」, **study** 「(…を)勉強する」のような動詞を**一般動詞**という。

② 一般動詞を使い「(主語)は…を～します。」というとき、英文では〈主語＋一般動詞＋「…を」〉の語順になる。 *動詞のあとの「…を」にあたる語句を**目的語**という。

例 ② I play the guitar. / ③ I study math.
 〈動詞＋「…を」〉 〈動詞＋「…を」〉

語句 ① band ② day ③ every ④ it ⑤ like ⑥ math ⑦ music ⑧ name ⑨ play
 ⑩ study ⑪ cola ⑫ drink ⑬ eat ⑭ ice cream ⑮ milk ⑯ pizza ⑰ weekend
 ⑱ every day

p. 53で発音と
意味を確認しよう!

確認問題

1 A 次の に適する語を () 内から選んで書きなさい。また、完成した英文を日本語に直しなさい。

□(1) I a guitar player. (am / play)

わたしはギター()。

*□(2) I the guitar. (am / play)

わたしはギター()。

B 次の日本語に合う英文になるように、 に適する語を書きなさい。

*□(1) ① わたしはテニスが好きです。

I tennis.

□(2) ② わたしはテニスをします。

I tennis.

□(2) ① わたしは英語が好きです。

I English.

□(2) ② わたしは英語を勉強します。

I English.

2 次の日本語に合う英文になるように、 () 内の語を並べかえなさい。

□(1) わたしはベーカー先生が好きです。 (like / I / Ms. Baker).

□(2) あなたはバイオリンを演奏します。 (violin / play / you / the).

*□(3) あなたは英語を勉強します。 (English / study / you).

基本問題

1 次の日本語に合う英文になるように、 に適する語を書きなさい。

□(1) わたしはサッカーファンです。 I a soccer fan.

*□(2) わたしはサッカーが好きです。

I .

□(3) わたしは毎日、サッカーをします。

I every day.

*2 次の日本語に合う英文になるように、 () 内の語を並べかえなさい。ただし、それぞれ1つずつ不要なものがあります。

□(1) わたしはわたしたちの英語の先生が好きです。
 (teacher / our / I / English / am / like).

□(2) あなたは毎日、数学を勉強します。
 (math / day / you're / every / study / you).

3 次の日本語を英語に直しなさい。

□(1) あなたはピアノをひきます。

*□(2) わたしは毎日英語を勉強します。

基本文・例文の意味

- 1 わたしは数学が好きです。
 2 わたしはギターをひきます。
 3 わたしは数学を勉強します。

- 1 I = a soccer fan
 (2)(3) I ≠ soccer

be 動詞の文と一般動詞の文
 ・ be 動詞のあとには、主語を説明する語(句)がくる。

I am a soccer fan.

・ 一般動詞のあとには、多くの場合「…を」にあたる語(句)がくる。

I play soccer.
 (主語) (動詞) 「…を」

*主語の直後に動詞「…する」がくる。

- 2 (1) 「わたしたちの」 our
 「英語の先生」

English teacher

(2) you're は you are の短縮形。

- 3 (1) 「(楽器)を演奏する」
 〈play the + 楽器名〉

(2) 「…を勉強する」 study
 「毎日」 every day

play の意味

① 「(スポーツ・ゲームなど)をする」

・ play tennis [soccer など]

・ play video games

テレビゲームをする

② 「(楽器・曲など)を演奏する」

・ play the guitar

ギターをひく [演奏する]

・ play the piano [violin]

ピアノ [バイオリン] をひく

[演奏する]

*この場合、楽器の前には必ず the をつける。

3 わたしの好きなこと

教科書 p. 40 ~ 41

学習日 月 日

一般動詞の疑問文

基本文

1 I play the piano.

2 Do you play the piano? — Yes, I do. [No, I do not.]

ポイント

1 一般動詞の疑問文では、主語の前に **do** を置く。

《比較》be 動詞の疑問文⇒ be 動詞を主語の前に出す。① ②, ③ ④ ②

2 答えるときは、Yes なら **do** で、No なら **do not** を使って答える。do not はふつう **don't** と短縮形を使う。

語句

① **at** ② **but** ③ **don't** ④ **original** ⑤ **piano** ⑥ **practice** ⑦ **really** ⑧ **sing** ⑨ **write**p. 53で発音と意味を確認しよう！
⑩ **at home**

確認問題

1 次の文を疑問文に書きかえるとき、に適する語を書きなさい。

□(1) You are a basketball player.

 a basketball player?

★□(2) You like music.

 like music?

□(3) You play baseball.

 baseball?

★□(4) You study English every day.

 English every day?

2 次の疑問文に、()内の語を使って答えなさい。

□(1) Is this your guitar? (Yes) — Yes, .★□(2) Do you play the guitar? (Yes) — Yes, I .★□(3) Do you like coffee? (No) — No, I .

□(4) Do you study math every day? (No)

— No, .

基本問題

1 次の日本語に合う英文になるように、に適する語を書きなさい。

□(1) ①あなたはサッカーファンですか。 — ②いいえ、ちがいます。

□① a soccer fan?□② No, .

★□(2) ①あなたは毎日、ピアノを練習しますか。

— ②はい、します。 / ③いいえ、しません。

□① the pianoevery day? — □② Yes, . /□③ No, .

2 次の対話文を読んで、あとの問いに答えなさい。

Kayo : Is this your guitar?

Tom : (①) It's my guitar. I practice the guitar at home.

Kayo : ② (guitar / do / a band / play / you / in / the)?

Tom : (③) ④ I sing in the band.

★□(1) ①, ③の()に適する英文をア～オから選び、記号で答えなさい。

ア Yes, I am. イ Yes, it is. ウ Yes, I do. エ No, it's not.

オ No, I don't. □① [] □③ []

□(2) 下線部②が「あなたはバンドでギターをひきますか。」という意味になるように、()内の語句を並べかえなさい。

□(3) 下線部④が「あなたは～歌いますか。」という疑問文に書きかえなさい。

3 次の日本語を英語に直しなさい。

★□(1) あなたはテニスをしますか。

★□(2) あなたは英語が好きですか。

基本文・例文の意味

- 1 わたしはピアノをひきます。
2 あなたはピアノをひきますか。
— はい、ひきます。[いいえ、ひきません。]

1

- (1) ① You are a soccer fan. の疑問文。
②空所の数に注目。
(2) 「(…を)練習する」practice
* practice も play と同様、あとに楽器を表す語がくるときは、その前に the をつける。
・ practice soccer [tennis] サッカー[テニス]を練習する
・ practice the piano ピアノを練習する
・ practice the guitar ギターを練習する

疑問文の読み方

Are you …? や Do you …? のように、Yes / No で答えられる疑問文は、文の終わりを上げ調子(ノ)で言う。

2

- (1)直前の疑問文の形から答えの文の形を判断する。
(2)「バンドで」は in a band。
(3)「あなたはバンドで歌いますか。」という意味の疑問文に書きかえる。

3 わたしの好きなこと

教科書 p. 42 ~ 43

学習日 月 日

一般動詞の否定文

- 基本文**
- 1 I play baseball.
2 I do not play baseball.

ポイント 1 「わたしは…(し)ません。」のように打ち消す文を否定文という。一般動詞を使った否定文は、動詞の前に **do not** を置く。

2 do not は、ふつう **don't** と短縮形を使う。

- 語句**
- ① about ② belt ③ every ④ go ⑤ just ⑥ know ⑦ little ⑧ member ⑨ of
⑩ play ⑪ school ⑫ to ⑬ want ⑭ badminton ⑮ softball ⑯ White ⑰ black belt
⑱ just a little ⑲ a little ⑳ a member of ㉑ go to

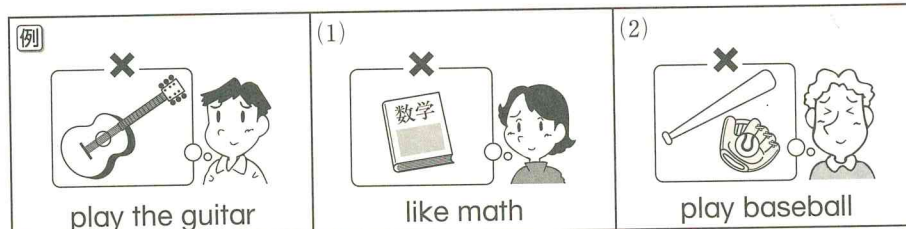
p.53で発音と意味を確認しよう！

確認問題

1 次の英文を否定文に書きかえるとき、 に適する語を書きなさい。また、書きかえた英文を日本語に直しなさい。

- (1) I am a baseball fan. → I a baseball fan.
わたしは()。
- ★□(2) I like music. → I like music.
わたしは()。
- ★□(3) I practice the guitar at home.
I the guitar at home.
わたしは家で()。

2 次の絵を見て、例にならって「わたしは…しません。」という英文を完成しなさい。



例 I don't play the guitar.

- ★□(1) math.
- ★□(2) baseball.

基本問題

1 次の日本語に合う英文になるように、 に適する語を書きなさい。

★□(1) わたしはサッカーをしますが、テニスはしません。

I soccer, but I
 tennis.

★□(2) わたしはピアノがほしいですが、ギターはほしくありません。

I a piano, but I
 a guitar.

□(3) わたしは音楽は好きですが、原作の音楽は書きません。

I music, but I
 original music.

2 次の日本語に合う英文になるように、()内の語を並べかえなさい。

★□(1) わたしは梅干しが好きではありません。〔1語不要〕

(umeboshi / I'm / do / like / I / not).

★□(2) わたしはバイオリンを演奏しません。

(play / I / violin / don't / the).

□(3) わたしはテニススクールに行きません。

(tennis school / go / don't / I / to).

3 次の日本語を英語に直しなさい。

★□(1) わたしはイヌがほしいのではありません。

□(2) わたしはホワイト先生(Ms. White)を知りません。

基本文・例文の意味

- 1 わたしは野球をします。
2 わたしは野球をしません。

1 「スポーツをする」は「play + スポーツ名」。
「…しない」は一般動詞の否定文。空所の数により do not を使うか、その短縮形を使うかが決まる。

(2) 「…がほしい」want

(3) 「…を書く、(曲)を作る」

* write

2

(1) I = umeboshi なので、この umeboshi は主語を説明する語ではない。

3 重要文法の整理 ②

教科書 p. 44

学習日 月 日

◆一般動詞の文について復習しよう。

一般動詞(復習)

■ like, play, study などの動詞を be 動詞と区別して、一般動詞と言う。

〈肯定文〉 I play tennis. (わたしはテニスをします。)↓
do not [don't] を動詞の前に置く。〈否定文〉 I do not play tennis. (わたしはテニスをしません。)〈肯定文〉 You play tennis.↓
主語の前に Do を置く。〈疑問文〉 Do you play tennis? (あなたはテニスをしますか。)— Yes, I do. / No, I do not [don't]. (はい、します。/ いいえ、しません。)

確認問題

★1 次の に「」内の日本語に合う英語を書きなさい。

- (1) I music. 「…が好きだ」 □(2) I the violin. 「…を演奏する」
- (3) I tennis. 「…をする」 □(4) I to school. 「行く」
- (5) I . 「歌う」 □(6) I pizza. 「…を食べる」
- (7) I milk. 「…を飲む」 □(8) I a dog. 「…がほしい」
- (9) I Japanese. 「…を勉強する」 □(10) I music. 「…を書く」

2 次の日本語に合う英文になるように、 に適する語を書きなさい。

- (1) わたしは音楽が好きです。 I music.
- (2) あなたはピアノをひきます。 You the piano.
- ★□(3) わたしはテニスをしません。 I tennis.
- (4) あなたはサッカーをしません。 You soccer.
- ★□(5) あなたは数学が好きですか。 you math?

★3 次の日本語に合う対話文になるように、 に適する語を書きなさい。

□(1) □① A: あなたは野球が好きですか。

 you baseball?

□② B: はい、好きです。

Yes, .

□(2) □① A: あなたはピアノをひきますか。

 play the piano?

□② B: いいえ、ひきません。

, I .4 次の英文を、 内の指示に従って書きかえなさい。

★□(1) I write music. [否定文に]

□(2) I drink milk every day. [否定文に]

★□(3) You want a computer. [疑問文に]

★□(4) You play the violin. [疑問文に]

★5 次の日本語を英語に直しなさい。

□(1) わたしは毎日、ギターをひきます。

□(2) あなたは英語を勉強しますか。

□(3) わたしはネコをほしくありません。

- 3 (1) book (2) koala (3) milk
 (4) soccer (5) boy (6) apple
 (7) movie (8) panda (9) wave
 (10) zoo

0 単語の書き方

【放送文】

P.16

CD 21

- 1 Alex Mike Bob John

CD 22

- 2 Becky Ellen Nancy Mei

CD 23

- 3 Japan Canada Australia America
 Tokyo Toronto
 Sydney Boston

確認問題

P.17

1

- ① two ② three ③ five
 ④ eight ⑤ nine

2

- ① Sunday ② Tuesday
 ③ Wednesday ④ Thursday
 ⑤ Saturday

3

- (1) January (2) July
 (3) September

4

- (1) Mai, Hokkaido, June 15
 (2) Takashi, Kyoto, December 20
 (3) Peter, New York, March 3

1 はじめまして

確認問題

P.18

1

- (1) I, am (2) I, am
 (3) I, am, Alex

【解説】

- (2)(3) 日本語の「わたしは」も「ぼくは」も、英語ではすべてIを使う。

2

- (1) I'm (2) I'm Ellen.

【解説】

- (1)~(3) 姓も名前も最初の文字は大文字で始めることに注意する。
 (2) 単語と単語の間は1字分くらいあける。

3

- (1) Ando, Saki
 (2) Tanaka, Satoshi
 (3) Matsuda, Ryoichi

【解説】

- (1) Saki Ando でもよい。
 (2) Satoshi Tanaka でもよい。
 (3) ローマ字の「ツ」はtsu, 「リョ」はryo。「チ」chi
 や「シ」shi なども要注意。
 (3) Ryoichi Matsuda でもよい。

基本問題

P.19

1

- (1) I, am I'm
 (2) I'm, Lily, Parker

【解説】

- (1)(2) 日本語では自分のことを「わたしは」「ぼくは」「私は」など、いろいろな言い方をするが、英語ではいつもIで表す。

2

- (1) I, am (2) ウ (3) I'm

【解説】

- (1) 直後に「わたしをあやと呼んでください。」があるので、その前に綾香が自分の名前を紹介をしていると考える。call は「…を呼ぶ」で、call me …は「わたしを…と呼ぶ」という意味になる。
 (2) 綾香の言葉を受けて、その呼び名を使って応答。
 (3) 空所が1つなので短縮形を考える。

【全訳】

あやか
 綾香：こんにちは。わたしは工藤綾香です。あやと呼んでください。

ブラウン先生：やあ、あや。わたしはマイク・ブラウンです。B-R-O-W-Nです。ブラウン先生と呼んでください。

3

- (1) I am[I'm] Becky Jones.
 (2) I am[I'm] Yamamoto Takuya.
 (3) 例 I am[I'm] Takahashi Ryo.

【解説】

- (2) 「山本卓也」は、日本語どおりの語順でYamamoto Takuyaとしても、英語国の順序に合わせてTakuya Yamamotoとしてもよい。
 (3) 姓も名前も最初の文字は大文字で始めることに注意。

1 はじめまして

確認問題

P.20

1

- (1) am (2) are

【解説】

(1)(2) 主語が I なら「…です」は am, 主語が You なら「…です」は are。

2

- (1) Are (2) Are, you
(3) Are, you, Ms., Sato

【解説】

(1)~(3) 「あなたは…ですか。」とたずねる文にする。
文の最初の文字は大文字で始めることに注意。
(3) Ms. Sato「佐藤先生」

3

- (1) Yes, am (2) I, am

基本問題

P.21

1

- (1)① Are, you ② Yes, am
(2)① Are, you ② Yes, I, am
③ I, am

2

- (1)① am ② Are ③ you
(2) I'm, Alex

【解説】

(2) 「2語」という条件があるので短縮形を使う。

【全訳】

まさみ : おはようございます。わたしは加藤まさみです。マチャミと呼んでください。

アレックス : いいですよ。

まさみ : あなたはアレックスですか。

アレックス : はい。ぼくはアレックスです。アルと呼んでください。

3

- (1) Are you in the kendo club?
(2) Yes, I am.
(3) I'm[I am] in the kendo club.

【解説】

(2) Yes, I am. の I am は短縮しない。

1 はじめまして

確認問題

P.22

1

- (1) Yes, am (2) No, am, not
(3) No, I'm, not

2

- (1) am, not (2) I'm, not
(3) are, not (4) You're, not

【解説】

(2)は「わたしはテニス部に入っていない。」、(4)は「あなたはダンス部に入っていない。」という意味の文を作る。

(4) You aren't も可。

基本問題

P.23

1

- (1)① Are, you ② Yes, I, am
(2)① Are, you ② No, I, am, not
(3)① Are, you ② No, I'm, not

【解説】

(1)① from「…から(の), …出身の」

(3)② No のあとの空所が2つなので短縮形を使う。
ただし, am not の短縮形はないので注意する。

2

- (1) I am not from Osaka.
(2) I'm not a sumo fan.

【解説】

打ち消す文(=否定文)は am や are のあとに not を置いて作る。

(2) 「相撲ファン」a sumo fan

3

- (1)① Are you from Tokyo?
② No, I'm[I am] not.
③ I'm[I am] not from Tokyo.
(2) I'm[I am] not in the judo club.

【解説】

(1) 「東京出身の」from Tokyo

(2) 「柔道部に入って」in the judo club

2 学校で

確認問題

P.30

1

- (1) ① This ② That
(2) ① This, is ② That, is

【解説】

- (1) ① 自分の近くにある[いる]ものを説明するときは
This is …, 「これは…です。」
② 自分から離れたところにある[いる]ものを説明
するときは That is …, 「あれは…です。」

2

- (1) That's
(2) That's my bed.

3

- (1) my, notebook (2) your, umbrella
(3) our, computer

【解説】

- (3) That's a computer. は「これは(1台の)コンピ
ューターです。」という意味。

基本問題

P.31

1

- (1) am (2) is (3) Are

- (3) 疑問文なので文頭にくる。文のはじめは大文字に
なるので注意する。

2

- (1) That is your marker.
(2) This is my pencil.
(3) That's our gym.

【解説】

- (1) 主語が that や this のとき、「…です」は is。
(2) 「わたしのえんぴつ」は my pencil. a と my は
いっしょには使えないので注意する。
(3) that's は that is の短縮形。すでに is は含まれて
いる。

3

- (1) This is your eraser.
(2) That's [That is] our home [house].

2 学校で

確認問題

P.32

1

A

- (1) Is, this (2) Is, that

B

- (1) it (2) it, is (3) it, is, not

2

- (1) it, It, is (2) it's, It's

3

- (1) is, not (2) is, not

4

- (1) a (2) an (3) ×

【解説】

- (2) egg は母音で始まる語。
(3) my があるので, a や an はつかない。

基本問題

P.33

1

- (1) これはすてきなラケットです。
(2) イ
(3) ③ am ④ are

【全訳】

舞 : これはすてきなラケットだわ。あなたのラケ
ットですか。

トム : はい, そうです。それはぼくのラケットです。
ぼくはテニス部に入っています。

舞 : まあ, あなたはテニス部に入っているのね!

- (2) Is it ~ ? には Yes, it is. か No, it's not [it isn't].
で答える。直後に「それはわたしのラケットです。」
があるので, 「はい, そうです。」と答える。

2

- (1) Is that your umbrella?
(2) No, it's [it is] not.
(3) It's [It is] not my umbrella.

【解説】

- (2) Is that ~ ? には Yes, it is. か No, it's not [it
isn't]. で答える。
(3) 前に話に出たものについて「それは」というとき
は, it を使う。

2 学校で

確認問題

P.34

1

A

(1) This, She, is (2) this, is, He's

B

(1) He (2) She

【解説】

A (2) Mr. があるので男性とわかる。

B (2) Ms. があるので女性とわかる。

2

(1) He, is, not (2) She, is, not
(3) She's, not,

【解説】

(3) 短縮形を使う。She isn't でもよい。

3

A

(1) Is, he (2) Is, Kaori

B

(1) he, is (2) she, is, not

【解説】

A (1) is を He の前に出す。大文字・小文字に注意。

(2) is を Kaori の前に出す。

基本問題

P.35

1

(1) He is[He's] my friend.
(2) She is[She's] not a teacher.
(3)① Is Ichiro a soccer player?
② No, he is[he's] not.

【解説】

(1) 主語が He にかわれば be 動詞も is にかわる。

(3)② 質問文の名前 Ichiro(一郎)は1人の男性なので、
答えるときは代名詞 he にかえる。

2

(1) She is not my English teacher.
(2) This is Kenta. He is[He's] from Osaka.
(3) Is he in the judo club?

【解説】

(1) She is not は She isn't や She's not でもよい。

2 重要文法の整理①

確認問題

P.36 ~ 37

1

(1) am (2) is (3) are (4) is
(5) is (6) is

2

(1) I'm not from Aomori.
(2) This is not a big fish.

【解説】

(2) is not は isn't でも可。

3

(1) Is this your ball?
(2) Are you from Australia?

4

(1) This, is, He's (2) That's
(3) She's

5

(1) A : Are B : am, I'm
(2) it, not, It's
(3) A : Are, you B : I'm
(4) not, It's

6

(1) That is a big sign.
(2) Is this your flute?
(3) She's not a soccer player.

辞書の使い方1

確認問題

P.38

1

(1) 日本の (2) 日本人
(3) 日本語 (4) 日本人の

2

(1) ふくろ, バッグ (2) サクランボ
(3) 音楽 (4) 土曜日

Unit 2 まとめの問題 A

P.40

1

- (1) × (2) ○ (3) × (4) ○

2

- (1) ア (2) イ (3) イ

3

- (1) that's (2) you're
-
- (3) he's

4

- (1) ① your
-
- ② Here, are
-
- ③ Thank, you
-
- ④ welcome
-
- (2) ① Nice, meet, you
-
- ② Nice, to, meet, too
-
- (3) is, in, English

【解説】

- (1) Here you are. は「はい、どうぞ。」とものを差し出すときに言うことば。
-
- (2) ① Nice to meet you. は「はじめまして。」と初対面の人に言うあいさつ。
-
- ② Nice to meet you. には Nice to meet you, too. 「こちらこそ、はじめまして。」と答える。
-
- (3) 「英語で」は in English で表す。

5

- (1) ① This is Mr. Yamada.
-
- ② He is [He's] an English teacher.

Unit 2 まとめの問題 B

P.41 ~ 43

1

- (1) pencil (2) park
-
- (3) picture (4) rabbit
-
- (5) teacher (6) player

2

- (1) are (2) my (3) he (4) he's

【解説】

- (1) 主語と be 動詞。
-
- (2) 主語の形と「…の」という意味の形。
-
- (3) 男女の区別。Ms. は女性の名前につける語で、Mr. は男性の名前につける語。
-
- (4) 短縮形。

3

- (1) That's, our (2) a, nice, uniform
-
- (3) ① This, is, not ② It's
-
- (4) ① This, is ② He, is

【解説】

- (2) <a[an] + 形容詞 + 名詞>の語順。
-
- (3) this や that は、2 度目にはそれをくり返さず it を使う。
-
- (4) ① 「こちらは…さんです。」と人を紹介するときも This is …。
-
- ② on the … team 「…部に入って」。

4

- (1) Is this your marker?
-
- (2) No, it is [it's] not.
-
- (3) It is [It's] not my marker.
-
- (4) Is Lily from America?
-
- (5) No, she is [she's] not. She is [She's] from Australia.

【解説】

- (1) 「これはあなたのマーカーですか。」とたずねる文にする。
-
- (2) this の代わりに it を使う。it is [it's] not は it isn't でも可。

(3) is のあとに not を置く。

(4) is を主語の前に出す。

(5) Lily は女性なので、答えるときには she を使う。
そのあとに補足説明をするときも she を使う。

5

- (1) This is a nice picture!
-
- (2) Is that an amusement park?
-
- (3) ウ
-
- (4) ① × ② ○

【解説】

- (1) 形容詞 nice 「すてきな」と a があるから <a + 形容詞 + 名詞>の語順。
-
- (2) 文尾の(?)から、疑問文と判断する。
-
- amusement park 「遊園地」は1つ、2つ…と数えられるから、前に a か an が必要。amusement は最初の文字が母音。
-
- (3) その直後で「それはデパートです。」と説明をしていることから、「遊園地」ではないことがわかる。
-
- (4) ② 日本語の「デパート」は英語の department store [デパートメントストア] を短くした形。

6

- (1) ① This, is, your ② Here, you, are
-
- (2) ① Thank, you ② You're, welcome

7

- (1) is a comic book in English
-
- (2) He is our new friend.

8

- (1) This is Yuri.
-
- (2) She is [She's] a tennis player.
-
- (3) Nice to meet you.

9

- (1) ウ (2) イ (3) エ (4) ア

【放送文】

CD 25

- (1) This is a notebook. (2) That is a bus.
-
- (3) That is a restaurant. (4) This is a guitar.

Unit 3-① 好きなことについて話そう

3 わたしの好きなこと

確認問題

P.44

1

A

- (1) am, (の)演奏者です
-
- (2) play, を演奏します[ひきます]

B

- (1) ① like ② play
-
- (2) ① like ② study

【解説】

A (1) I = a guitar player の関係。

- B (1) ① 「わたしは…が好きです。」は I like + 好きなもの[人].。]
-
- ② 「わたしは…(スポーツ)をします。」は I play + スポーツ名.。]
-
- (2) ② 「わたしは…(教科)を勉強します。」は I study + 教科名.。]

2

- (1) I like Ms. Baker.
-
- (2) You play the violin.
-
- (3) You study English.

基本問題

P.45

1

- (1) am (2) like, soccer
-
- (3) play, soccer

【解説】

- (1) 「…です」という意味を表す am, are, is は主語に合わせて使い分ける。

2

- (1) I like our English teacher.
-
- (2) You study math every day.

【解説】

- (2) every day は文頭に置いてよい。

- (1) You play the piano.
(2) I study English every day.

【解説】

- (1) 楽器の前の the を忘れずに。
(2) every day は文頭に置いてよい。

3 わたしの好きなこと

確認問題

P.46

1

- (1) Are, you (2) Do, you
(3) Do, you, play (4) Do, you, study

2

- (1) it, is (2) do
(3) do, not (4) I, don't

【解説】

- (1) be 動詞の疑問文には be 動詞を使って答える。
(2)(3) Do ～？の疑問文には do を使って答える。
(4) 空所が2つなので do not の短縮形を使う。

基本問題

P.47

1

- (1)① Are, you ② I'm, not
(2)① Do, you, practice ② I, do
③ I, don't

2

- (1)① イ ③ オ
(2) Do you play the guitar in a band?
(3) Do you sing in the band?

【解説】

- (1) be 動詞の疑問文には be 動詞で答え、Do ～？の疑問文には do を使って答える。
① Yes, it is. の it は直前の文の this のくり返しを避けるための代名詞。

【全訳】

- カヨ：これはあなたのギターですか。
トム：はい、そうです。それはぼくのギターです。ぼくは家でギターを練習します。
カヨ：あなたはバンドでギターをひきますか。
トム：いいえ、ひきません。ぼくはバンドでは歌いません。

- (1) Do you play tennis?
(2) Do you like English?

【解説】

- (1) 「テニスをする」play tennis
(2) 「英語が好きだ」like English

3 わたしの好きなこと

確認問題

P.48

1

- (1) am, not, 野球ファンではありません
(2) do, not, 音楽が好きではありません
(3) do, not, practice, ギターを練習しません

【解説】

- (1) be 動詞の否定文は、be 動詞のあとに not を置く。

2

- (1) I, don't, like
(2) I, don't, play

基本問題

P.49

1

- (1) play, don't, play
(2) want, don't, want
(3) like, don't, write

2

- (1) I do not like umeboshi.
(2) I don't play the violin.
(3) I don't go to tennis school.

【解説】

- (1) I'm は I am の短縮形。
umeboshi は like のあとにくる目的語(「…を」にあたる語)。
I'm not … とすると「わたしは梅干しではありません。」というおかしい文になってしまう。日本語の「…ではありません」に惑わされ be 動詞の否定文と思い違いしないように。
(3) 「…に行く」は go to + 場所 で表す。

3

- (1) I don't[do not] want a dog.
(2) I don't[do not] know Ms. White.

3 重要文法の整理②

確認問題

P.50 ~ 51

1

- (1) like (2) play (3) play
(4) go (5) sing (6) eat
(7) drink (8) want (9) study
(10) write

2

- (1) like (2) play
(3) don't, play (4) don't, play
(5) Do, like

3

- (1)① Do, like ② I, do
(2)① Do, you ② No, don't

4

- (1) I don't[do not] write music.
(2) I don't[do not] drink milk every day.
(3) Do you want a computer?
(4) Do you play the violin?

【解説】

- (2) don't drink ... every day 「...を毎日飲むわけではない」

5

- (1) I play the guitar every day.
(2) Do you study English?
(3) I don't[do not] want a cat.

3 何のCM?

基本問題

P.52

1

- (1) あなたはサッカーが好きですか。
(2) 野球もやりますか
(3) 原作の曲を書きます[作ります]
(4) 毎日野球を練習します
(5) すてきな学校です

2

- (1) No, it's, not
(2) Yes, it, is
(3) イ

【解説】

- (1) No, it's not. は No, it isn't. でもよい。

【放送文】

CD 26

Hi, everyone! Do you like music? Do you sing?
Do you play the piano? Do you play the guitar,
too?

Do you write original music? We practice the
piano, the guitar, and the violin at this school.
This is White Music School. It's a nice school.
White Music School.

質問

- (1) Is this a tennis school?
(2) Is this a nice school?

3 まとめの問題 A

P.54

1

- (1) × (2) × (3) ○ (4) ×

2

- (1) ア (2) イ (3) イ

3

- (1) a (2) × (3) the

【解説】

- (2) スポーツ名や教科名には a や the はつかない。
(3) 「(楽器)を演奏する」というときは play the + 楽器名。

4

- (1) My, name, is
(2) study, at, home, every, day
(3)① sing, in, band ② Really

【解説】

- (1) My name が主語のときも「...です」は is を使う。
(2) 「毎日」every day, 「家で」at home
(3) 「バンドで」in a band

5

- (1) でも、わたしが柔道について知っているのはほんの少しだけです。
(2) I'm a member of the judo club.
(3) イ

【解説】

- (1) just a little 「ほんの少し」
(2) a member of ~ 「～の一員」
(3)③ go to ~ 「～へ行く」

3 まとめの問題 B

P.55 ~ 57

1

- (1) math (2) drink (3) milk
(4) original (5) belt (6) know

2

- (1)① イ ② エ ③ ア
(2)① ア ② ア ③ イ

3

- (1)① This, is ② He, is
③ I, am ④ I'm, twelve
(2) like, tennis
(3) practice, the, piano
(4)① Do, you, want ② I, do
③ But, don't, want

【解説】

- (1) すべて be 動詞の文。
(2) 〈主語 + 動詞 + 「...を」.〉の語順。
(3) 「楽器を練習する[ひく]」は楽器の前に the が必要。
(4)② Do ...? で聞かれたら, do を使って答える。

4

- (1) Are you a member of the tennis team?
(2) No, I'm[I am] not.
(3) Do you go to tennis school every day?
(4) No, I don't[do not].
(5) I don't[do not] go to tennis school.

【解説】

- (1) You're = You are
(2) Are you ~? / Do you ~? 「あなたは~?」と聞かれたら, I を使って答える。
(3) go は一般動詞。